

67	産業労働局	スギ花粉発生源対策
事業概要	<p>都内では多く飛散するスギ花粉の影響で、3.5人に1人が花粉症患者となっており(平成18年度福祉保健局調査)、社会的・経済的影響も甚大である。</p> <p>そこで、スギ花粉の飛散を削減するため、スギ林の本格的伐採と花粉の少ないスギ等への植替えを実施する。</p> <p>更に、基盤整備や多摩産材の需要拡大を図り、スギの伐採と植替えを促進することによって、林業を再生する。</p> <p>また、花粉発生源対策は、長期的な取組であり、事業実施に当たっては、広く都民や企業による理解と協力を求め、「花粉の少ない森づくり運動」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スギ林の伐採と花粉の少ないスギ等の植栽 ・小面積の伐採と広葉樹の植栽(針広混交林化) ・基盤整備(作業道整備、貯木場の整備運営等) ・「花粉の少ない森づくり運動」の推進 ・多摩産材の利用拡大 	
これまでの経過	<p>平成17年11月 東京都花粉症対策本部の設置(関係14局で構成)</p> <p>平成18年4月 「花粉の少ない森づくり運動」開始式とシンポジウムを開催 (代表発起人:養老 孟司、C・W・ニコル、村山 貢司) 募金の開始(募金箱、ダイヤルQ2等による)</p> <p>9月 第1回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>11~12月 伐採開始式、多摩産材利用推進方針の策定</p> <p>平成19年12月 第2回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>平成20年4月 貯木場運用開始(青梅市新町)</p> <p>11月 「多摩における森林整備に関する東京都と東芝グループとの基本協定」締結</p> <p>12月 第3回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>平成21年2月~花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」PR活動</p> <p>7月 「花粉の少ない森づくり運動」メールマガジンの配信</p> <p>平成22年1月 第4回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>2月~花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」PR活動</p> <p>7月 第7回東京都花粉症対策本部開催</p> <p>12月 第5回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>平成23年2月~花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」PR活動</p> <p>7月 第8回東京都花粉症対策本部開催</p> <p>平成24年1月 第6回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>2月~花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」PR活動</p> <p>10月 第9回東京都花粉症対策本部開催</p> <p>平成25年1月 第7回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を開催</p> <p>2月~花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」PR活動</p> <p>3月末(事業開始からの累計)</p> <p style="text-align: right;">スギ林の伐採と花粉の少ないスギ等の植栽 470ha 小面積の伐採と広葉樹の植栽 150ha</p>	
現在の進行状況	<ol style="list-style-type: none"> (1) スギ林の伐採と花粉の少ないスギ等の植栽 (2) 小面積の伐採と広葉樹の植栽(針広混交林化) (3) 作業道整備、貯木場管理運営 (4) 募金活動「花粉の少ない森づくり運動」の継続 (5) 「企業の森」の協定締結(19箇所) (6) 区市町村等への多摩産材利用の働きかけ 	
今後の見通し	<ol style="list-style-type: none"> (1) スギ林等の伐採と植樹の推進 (2) 小面積の伐採と広葉樹の植栽(針広混交林化) (3) 「花粉の少ない森づくり運動」の推進 (4) 多摩産材の利用拡大 	
問い合わせ先	産業労働局 農林水産部 森林課	電話 03-5320-4867